

「台風や前線が発生」してから「川の溢水・越水」、「氾濫」あるいは「土砂崩れ」発生までのそなえと行動を書いてみましょう。

5~3日前 2日前 1日前 半日前 8時間前 6時間前 0時間

## 警戒レベル 1

### 避難情報

#### 防災気象情報

- 黒○：気象情報
- 青◆：河川情報
- 緑●：村山市避難情報

#### 警戒レベル1

- 早期注意情報 (警報級の可能性のある気象情報)
- 台風予報
- 台風に関する山形県の気象情報 (随時)

#### 警戒レベル2

- 大雨・洪水注意報
- 台風に関する今後の見通し

氾濫注意水位到達

氾濫注意情報 発表

- 水防団の出動要請
- 要配慮者施設に洪水予報 (氾濫注意情報) を伝達

## 警戒レベル 2

### 自主避難・注意の呼びかけ

#### 警戒レベル3 (3相当)

- 大雨警報・洪水警報 (上流域での大雨特別警報) (米沢、長井、白鷹、朝日、大江)

避難判断水位到達

氾濫警戒情報 発表

- 高齢者等避難 発令

## 警戒レベル 3

### 高齢者等避難

#### 警戒レベル4 (4相当)

- 暴風警報
- 土砂災害警戒情報

氾濫危険水位到達

氾濫危険情報 発表

緊急速報(エリア)メール (氾濫のおそれがある情報)

- 避難指示 発令

## 警戒レベル 4

### 避難指示

#### 警戒レベル5 (5相当)

- 大雨特別警報(土砂災害)

氾濫が発生

氾濫発生情報 発表

緊急速報(エリア)メール (氾濫の情報)

- 緊急安全確保 発令
- 避難が完了していない場合は直ちに避難を開始しましょう。
- 外に避難することでかえって危険な場合は、建物内の安全な場所で安全を確保しましょう。

## 警戒レベル 5

### 緊急安全確保

#### わが家のそなえ

##### ・台風予報・大雨予報

- 気象庁ホームページ(台風予報)
- ・進路情報、暴風圏・雨の範囲
- ・上陸するか、前線はどうかなど

##### ・防災マップの「37ページ」

- お箸とスリッパを忘れない!
- 寝るときの音・光・床への対応がポイント
- 音: ガヤガヤして眠れない(耳栓、イヤホン)
- 光: 避難所は電気が消えない(アイマスク、タオル)
- 床: 硬い(折畳マット、枕になるもの)
- 気持ちを保つものも大事
- 家族の写真、本・パズルブックなど(電気不要の物)

##### ・各種気象情報

- 村山市公式ホームページ
- ・警報・注意報、今後の予報をチェック
- ・地域の雨量・水位、河川の状況
- 山形県河川・砂防情報システム
- ・最上川:「下野観測所」「稻下観測所」
- ・大旦川:河島、林崎
- ・富並川:深沢
- それぞれ川の避難判断水位をチェック
- ・土砂災害の危険度分布
- 山形県土砂災害警戒システム
- ・住んでいる地域の危険度をチェック

身を寄せられる親戚や知人宅なども避難場所として検討しましょう。

##### ・「雨・風」対策が重要

- 強風では傘は危険
- ・雨濡れ対策(雨衣・カッパ・着替え)
- ・持出し品は大きなゴミ袋等に入れてからリュックへ
- 浸水の状況見て判断
- ・水が上がってからの長靴は危険、サンダルも×
- ・濡れても良く動く運動靴を確保

##### ・避難先の選定

- ・市が指定する避難所だけではない。
- ・安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人宅など、他にないか、複数の避難先を優先順位をつけて整理

##### ・避難行動について

- ・避難に必要な時間は、準備と移動の時間
- ・大人なら1Km歩くのに15分、子供はもっとかかる。
- ・一緒に避難する人、風雨や道路など、外の様子により、持ち物や服装で避難に必要な時間は異なる。
- ・避難のタイミング
- ・風や雨が強くなると屋外を移動することが難しくなる。道路が冠水したり、夜になると足が見えず、移動は危険を伴う。
- ・土砂崩れや急激な水位上昇による洪水は、予測が難しく、急激に状況が変化する場合があり、早めの行動が重要
- ・市が発令する避難指示で確実に避難する。
- ・避難指示が発令されていなくても、気象庁等が発表する防災気象情報を参考に避難行動をとる。

#### そなえの例

- テレビ、ラジオ、インターネットで台風や雨の今後を調べる。(お父さん)
- ばあちゃんのお薬を病院に受取りに行く(お母さん)
- 避難するときに持っていくものを準備する
- 避難生活が続くことを想定し、事前の準備をしておきます。

- ※ 雨で流され、風で飛ばされてしまいそうなものはないか?
- サクランボハウスのシートを片付ける。(お父さん)
- 盆栽を家にしまう。(じいちゃん)
- テレビ、スマートフォン、インターネット等で雨や川の様子に注意(お兄ちゃん)

防災気象情報をどのように得るのか、あらかじめ取得方法を確認しておきます。

- 警報・注意報、天気予報を調べる。
- 累積降水量や川の水位を調べる。
- 土砂災害の危険がないか調べる。(スマートフォンなどに登録しておく)

河川の水位は、突然上昇したり、することがあるので、継続的に調べましょう。

- どこに避難するか、どうやって行くか再確認

お母さんと兄妹は、●●小学校に徒歩でお父さんは、じいちゃんとおばあちゃんを連れて車で△△避難所に行く。など、家族で再確認します。

- 家族と連絡を取りあう(みんなで)
- 携帯電話の充電(お姉ちゃんがまとめる)
- テレビ、ラジオ、防災行政無線の情報に注意する。(聞き逃さないようにみんなで注意する。)

- 避難しやすい服装に着替える

自宅の外に避難する場合は、雨が強くなる前に避難することを心がけましょう。

- 高齢者等避難になったら、じいちゃんとおばあちゃん、お父さんと一緒にばあちゃんの実家へ行く。

災害情報と照らし合わせ、避難を開始するタイミングを明確にしておきます。

- お母さんと兄妹で家の戸締りを確認する。

- 避難開始!!
- 避難所まで歩いて20分かかかるから、避難指示になる前でも、準備ができたなら、●●小学校へ移動を始める。

- 避難完了
- 自分の状況を家族や親戚等へ連絡

- 避難が完了していない場合は直ちに避難を開始しましょう。
- 外に避難することでかえって危険な場合は、建物内の安全な場所で安全を確保しましょう。

#### 避難する場所

① 指定避難所

② 親戚・知人の家

③ その他

#### 雨や河川の情報

村山市ホームページ



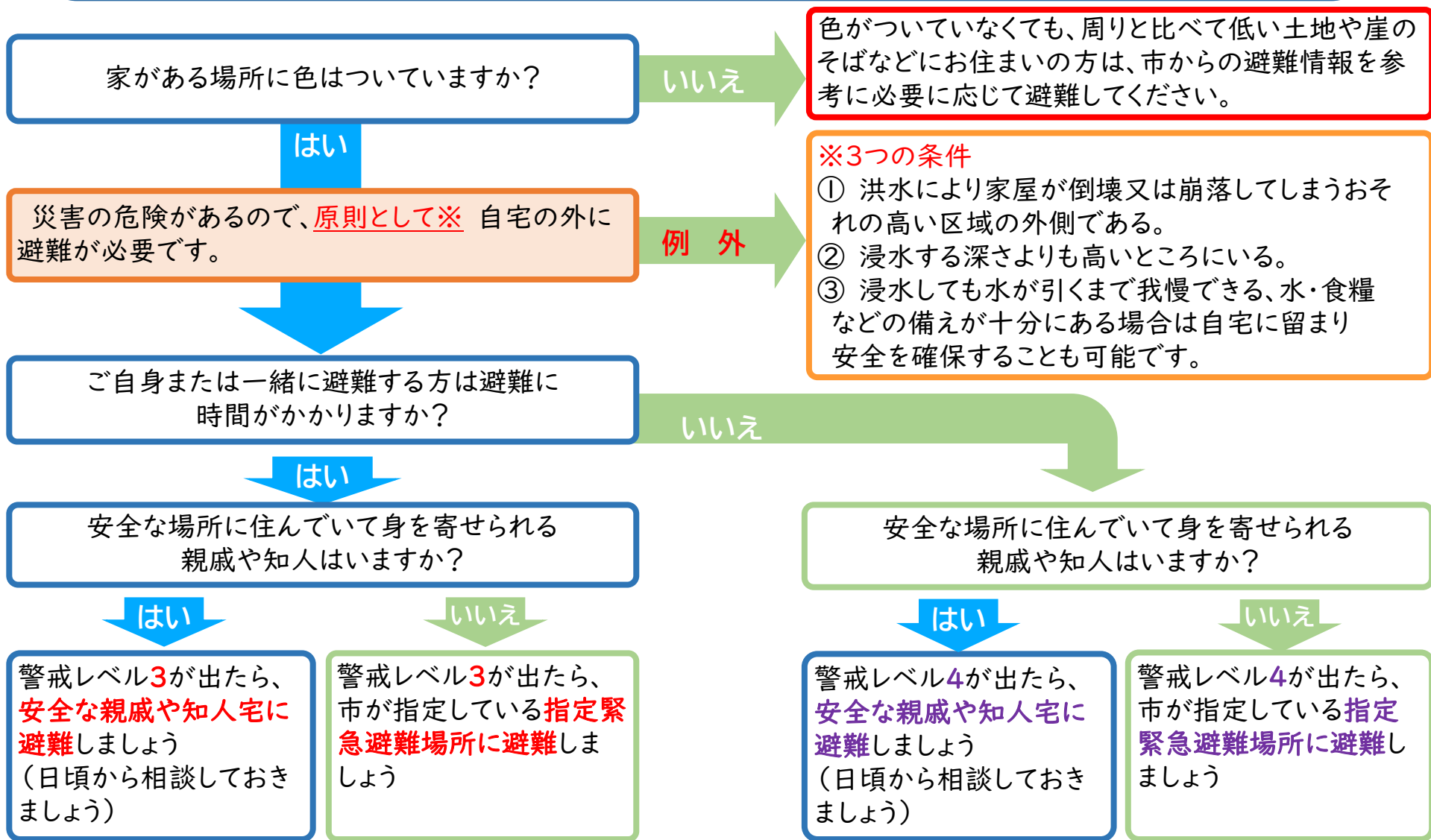
山形県河川・砂防情報システム



山形県土砂災害警戒システム



# 避難行動判定フロー



## 危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその活用

気象状況	相当レベル	早期注意情報 (警報級の可能性)	気象庁等の情報			村山市の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル	
大雨の数日～約1日前	1相当					<ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul>	災害への心構えを高める	1	
大雨の半日～数時間前	2相当	大雨注意報 洪水注意報	高潮注意報	キキクル (危険度分布)	注意 (注意報級)	氾濫注意情報	第1次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨の数時間～2時間程度前	3相当	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)		氾濫警戒情報	高齢者等避難 第2次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
	4相当	土砂災害警戒情報	高潮警報 高潮特別警報	非常に危険 極めて危険		氾濫危険情報	避難指示 第3次防災体制 (災害対策本部)	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
~~~~~警戒レベル4までに必ず避難~~~~~									
数十年に一度の大雨	5相当	大雨特別警報				氾濫発生情報 緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5	